

美しい日本を守るために

山谷えり子

国家公安委員長、拉致問題担当大臣、
海洋政策・領土問題担当大臣、国土強靱化担当大臣、
内閣府特命担当大臣(防災)

第二次安倍改造内閣発足に伴い、国家公安委員長、拉致問題担当、海洋政策・領土問題担当、国土強靱化担当、内閣府特命担当大臣(防災)と五つの担当大臣を拝命いたしました。

ネーブで日本政府主催の「北朝鮮による拉致を含む人権侵害に関する国際シンポジウム」の基調講演を行い、参加いただいた十五カ国百五十人の皆さんに拉致問題の解決にむけ協力を呼びかけてまいりました。九月二十七日に発生した御嶽山噴火では、五十七名の方々がお亡くなりになり、現在も六名の方々の消息が不明となっている中、十月十六日に長野県災害対策本部及び岐阜県火山災害警戒本部が、山頂付近での積雪などによる二次災害の危険が強まったこともあり、大規模な捜索を打ち切るという苦渋の決断をされました。私も現地にまいりましたが、過酷な環境の中、一時は千九百人体制で救助・捜索にあたっていただいた消防警察・自衛隊をはじめ関係者の皆様に心より敬意を表します。

らゆる想定の中、政府認定の有無にかかわらず、日本人被害者全員の安全確保と早期帰国の実現にむけ、準備を進めているところです。

常に緊張感の中、正確かつ的確な判断・指示が求められる重責を担っておりますが、与えられた使命に誠心誠意むきあっている所存でございます。

引き続き、神道政治連盟の皆様からのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成二十六年十一月吉日識



これまで拉致議連事務局長・自民党拉致問題対策本部長として拉致問題を、領土議連会長として領土問題を、参議院政審会長として多岐にわたる法案審査をしてきたこともあり、おかげさまで各省庁のスタッフとも阿吽の呼吸で就任直後から一丸となってスタートダッシュができております。

また、拉致被害者の方々のご帰国は、ご家族はもちろんのこと、国民全員の願いでもあります。安倍総理とともに、ありとあ

就任三日後には防災担当大臣として広島県の土砂災害の現場視察、その翌日には石川県での拉致の集会、就任六日後にはジュ

岩津天満宮崇敬会 崇敬者名簿

名誉会員	神谷 直三	西尾 典晃	齋藤 武光	上坂 一郎	高須 稔明	横地 巖
酒井 南賜	川澄 幸夫	蜂須賀正人	齋藤 常勝	上坂 賢三	高須 亮介	吉田 道夫
高瀬 悦子	河村 鋭	服部 敏	服部 之則	上坂 美奈	高見 政美	吉見千賀子
戸田しげ子	木俣 裕文	服部 義明	佐藤 好春	上坂 優佳	田中 敬子	頼富 雄二
法人会員	木村 勝也	早川 道夫	柴田 和美	上坂のみ子	田中 聡	渡辺 英二
(株)中根組	小久保文雄	平川 正雄	柴田 太郎	氏原 健嗣	塚本 潤	渡邊 清司
(株)享成	近藤 金二	深田 達彦	下野富二雄	江坂悠紀子	内藤 淳	〔順不同〕
自動車学校	近藤 孝義	牧 久	末安 鶴代	大須賀行弘	永田 欽一	
(株)福井	近藤 良介	三浦 康宏	鈴木 龍也	大林 市郎	永田 伸子	
ポンプ技研	酒井 真司	三嶋 勉	鈴木 信輝	小野あき子	中根 勝美	
家族会員	時々輪忠正	山口 京子	高島 隆	加藤 博見	加藤 慶市	
竹内 照男	柴田剛太郎	山田 通博	内藤 雅代	加藤 俊幸	中野 英明	
竹内さちよ	柴田 時雄	山本 幸助	成瀬 裕保	加藤 慎也	中村 忠夫	
竹内 眞乃	嶋田 六郎	山本登喜夫	丹羽 勝巳	加藤 秀夫	成瀬 慶市	
松尾 和磨	白井 宏幸	横山 智則	丹羽 勁子	加藤 貞明	西川 進	
松尾 達也	杉浦 實	(株)中根組	丹羽美穂子	神尾 俊治	早川久右衛門	
松尾 久美	杉田 雄男	安全協力会	兵藤 進一	神谷 恵	早川 千秋	
特別会員	鈴木 輝泰	維持会員	福島雄一郎	金井 大輔	原田 立太	
会津 章一	鈴木 豊	青山 信行	正木 康代	金井 信人	藤井 建	
青木 栄子	高橋 俊之	青山 信行	松井 康太	岸 孝雄	藤田 晃弘	
青木 勇作	田口 正夫	森本日生子	鬼頭 辰郎	鬼頭 辰郎	古澤 武雄	
浅井 妙子	竹内 桂子	伊藤 隆泰	山崎 計依	木虎 烈	前田 資雄	
浅井 司	谷 和義	伊藤 昇	伊藤 隆泰	久世 光幸	松波 秀子	
浅井 実	種村 浩人	伊藤 正夫	脇本 志乃	熊澤 申吉	三浦 憲吾	
安達 正夫	千葉 安宣	犬塚 一男	浅井 春子	熊澤 申吉	三浦 憲吾	
糸川 佳男	柘植 金廣	犬塚 蒼翠	足立富貴枝	紅林 佑歌	三貝 康子	
市川 佳男	辻 秀之	今泉 浩之	有馬 大介	黒柳 寛	水野 俊一	
岩附 浩一	中川 卓郎	梅村 清市	飯田 セツ	小島 坦文	水野 敏光	
遠藤 泰男	中根 義一	角張 恒代	稲垣 壽男	佐野 繁	三宅 政	
太田 篤	中根 祥子	加藤 賢治	岩城 典子	佐野 繁	三宅 政	
太田 直樹	中根 義一	加藤 賢治	岩城 典子	佐野 繁	三宅 政	
萩野 直樹	中根 義一	加藤 賢治	岩城 典子	佐野 繁	三宅 政	
加藤 錫男	中根 義一	加藤 賢治	岩城 典子	佐野 繁	三宅 政	

◎平成二十六年
十二月一日現在

お知らせの方々に 崇敬会ご加入をお誘いください

日本人の暮らしには、神様への祈りが深く根付き、とりわけ天神様は子どもの頃より身近な親しみを感じる神様と申せます。

岩津の天神様は学問の守り神、病除けの神、夢を叶える神という独特の信仰と非常に強い御神威をお持ちになり、多くの皆様の崇敬を集めています。

岩津天満宮崇敬会は、岩津の天神さんに親しみと心の安らぎを強く感じておられる皆様のを和やかな集いです。

ゆかりのお社への参拝研修旅行、社会奉仕、体験型の催しものなど、会員相互の交流と親睦を図る企画を増やすと共に、さまざまな講座を設け生涯学習の場としての役割も高めて参ります。

どうぞ、ご家族、ご友人、そして会社で、岩津天満宮崇敬会にご参加いただけますようご案内申し上げます。

会員の種別
本会の会員は
正会員・維持会員・特別会員・家族会員・法人会員とします
入会金は無用です
会費は定められた金額を毎年納めて頂くものとします

会員の待遇
◎毎日皆様の家内安全を岩津の天神様にお祈りいたします
◎法人会員は創業祭を執り行います
◎誕生日には天神様に無病息災・厄難消除をお祈りします
◎会員章の提示により昇殿参拝ができます
◎年頭に御神札を授与します
◎2月の崇敬会大祭及び年間御祭事をご案内いたします
◎社報「てんじんやま」をお届けいたします
◎研修旅行(宿泊・日帰り)を実施ご案内いたします
◎岩津天満宮主催の催しを実施ご案内いたします
◎会員章の提示により余香殿なおらいでの飲食を割引します

年会費	
正会員	3,000円
維持会員	5,000円
特別会員	10,000円
家族会員	20,000円(4名まで)
法人会員	30,000円